

## 事業完了（廃止等）報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和2年10月12日 ～ 令和3年3月15日
調査研究事項	<p>≪委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究≫</p> <p>I. 教育課程に関すること</p> <p>III. 都道府県、市町間の連携に関すること</p> <p>IV. 教職員の配置・研修に関すること</p> <p>VI. その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>○年2回の教員研修に、大阪産業大学国際学部国際学科教授を講師として招聘し、継続な指導を受ける。専門的な日本語指導及び支援の視点を取り入ながら、多様な生徒に対応した教育課程の編制を行い、教育活動の充実を図る。</p> <p>○年3回の研究授業や研究協議に、神戸YWCA学院から識字・日本語指導の講師を招聘し、継続的な指導を受ける。専門的な識字・日本語指導を体験的に学び、教科における授業力の向上を図る。</p> <p>○夜間中学においてのDLAの活用について先進的に研究をしている墨田区立文花中学校夜間学級の先進校事例の調査をおこない、教科における学力の向上への有効性や可能性を研究する。</p> <p>○高齢な生徒が多い中、養護教諭の配置がなく、まずは学校行事や校外指導における安全面の確保が急務である。生徒が安心して参加し、体験的な学びを深めることできるよう、養護教諭経験者等を招聘し、健康や安全への支援体制を充実させる。</p> <p>○入管法が新しくなり新渡日の生徒の入学が急激に増え、多文化共生支援の充実が急務である。生徒が安心して参加し、体験的な学びが深まるよう、通訳を招聘し、健康や安全への支援体制を充実させる。</p> <p>○夜間中学増設運動全国交流集会や基礎教育保障学会研究大会に出席し、先進地域での取組を情報収集するとともに、お互いの成果や課題を意見交換し、環境整備を含めた教育活動の充実を図る。</p> <p>○全夜中研や近夜中協、兵庫3夜中学位校との関係の充実を図り、先進地域での取組を情報収集するとともに、お互いの成果や課題を意見交換し、環境整備を含めた教育活動の充実を図る。</p> <p>○サポート・ステーション等での研究実践を調査し研究を深める。受け入れ実績が少ない不登校経験者への支援スキルの習得を図るなど多様な生徒への支援の在り方を探る。</p>
調査研究の成果	<p>○年3回の研究授業や研究協議に、神戸YWCA学院から識字・日本語指導の講師を招聘し、継続的な指導を受けた。専門的な識字・日本語指導の具体的な手法を学んだ。教科学習における有効な日本語指導の在り方について、共通理解を深めた。</p> <p>○大阪多様性教育ネットワークから講師を招聘し、本校は様々な年齢や国籍、社会的な背景を持つ生徒が通っているため、学校の教育方針</p>

の一つに多様性教育を掲げ、母語や国籍等の違いを越えて、共に生きる力を育てる教育を推進している。夜間中学校における多様性教育のさらなる充実を図るべく、一人ひとりルーツやニーズを詳しく理解することで、指導のあり方を教員一丸となって指導力向上を図るべきであることを学んだ。

○広域受入れ化が来年度から本格的に始まることから、特別な支援を要する生徒への対応方法にも理解を深める必要がある。事例に基づいた具体的な手立てについて知り、大人への特別な支援の仕方について、その方法の理解を深めた

○学校行事に養護教諭経験者を招聘した。生徒の心身の安全を確保でき一人ひとりが安心して体験的な学びを深めた。

○学校行事に多文化共生支援員を招聘した。母語支援によって、日本語の苦手な生徒も安心して参加でき、体験的な学びを深めた。留意事項等も確実に伝わり、安全面への指導の徹底を図れ、事故もなく教育活動を終えた。